



## 留学だより Vol. 4

こんにちは。YFU というエージェントでドイツのミュンヘンに留学中の松木です。12月の上旬に初雪が降りました。1cmほど積もってすぐ溶けてしまったので残念ですが、もうすぐスキーができるようになるかなと思います。自分は寒い気候の方が快適に過ごせるので特に困ることはないですが、家には窓の近くにヒーターがついているだけで日本のように暖房がないので真冬は家の中も寒いそうです。

ドイツについて4か月経ちました。学校の授業の内容も大体翻訳なしで分かるようになってきましたが、まだまだ知らない単語ばかりです。最近はテストが多く、毎回ちゃんと勉強を少ししてからテストに臨むようにしているのですが、いざテストになると問題文を理解するのに時間がかかり、しかも記述の問題が多いので全然うまくいきません。次のテストも頑張りたいです。

12月に入り、ドイツは街がクリスマスの雰囲気になっています。クリスマスはドイツでとても重要なイベントで、先日は教会で礼拝をするような日があり、授業がなくなりました。今回はドイツのクリスマスについて書こうと思います。

### ◎アドベント

ドイツのクリスマスは12月1日から始まります。というのも、ドイツでは12月1日から毎日クリスマスイブまでカウントダウンをしていく文化があるのです。とくに有名なのはアドベントカレンダーです。一日ごとにその日の数字が描かれたマスを開け、そのマスに描かれている絵を楽しみます。ただのカレンダーだけではなくいろいろな種類がありますが、ホストファミリーは私にチョコレートのカレンダーを買ってくれました。毎日開けるのが楽しみで、さらにクリスマスがさらに待ち遠しくなります。



アドベントカレンダー

### ◎Krampus (クランプス)

ミュンヘンでは最近、クランプスというパレードのようなものがありました。ドイツのクリスマスには、サンタさんともう一人似たような恰好をしたニコラウスという人物がいます。また、ニコラウスの日という日があり、前日に靴を磨いておくと靴の中にプレゼントを入れてくれます。私はチョコレートとナイフをもらいました。話がそれてしまったのですが、クランプスはバイエルン州でのニコラウスの別名のようなもので、このパレードで

はモンスターや悪魔、そしてニコラウスに仮装した人たちがミュンヘン市内を練り歩きます。ホストファミリーと出かけていたら偶然見ることができたのでラッキーでした。ニコラウスは一人しかいないので、パレードでは大量のモンスターが闊歩しているのですが、バイエルン州の各地域からそれぞれの伝統あるモンスターたちが集まっているので、たくさんの種類があり、見ていて全く飽きませんでした。衣装も本物の毛皮やつなのなどで作られていて、迫力もありました。日本でいう「なまはげ」のような存在で、悪い運を追い払ってくれるようです。見ることができてよかったです。



#### ©Weihnachtsmarkt (クリスマスマーケット)

ヨーロッパにはクリスマスマーケットという市場をクリスマスの期間に開催するという伝統があります。中でもドイツではどの町に行ってもクリスマスマーケットが開かれているほどで、ミュンヘンにもたくさん観光客が来ていました。日本人観光客もたくさん来ていて、クリスマスマーケットを歩いていたら突然日本語が聞こえてくるのでびっくりしました。

クリスマスマーケットでは食べ物や飲み物、工芸品やクリスマスの飾りなどが売られています。WurstやFlammkuchen (ドイツのピザみたいなもの)、ナッツなどが人気で、あつあつのドイツ料理を寒い中、友達や家族と食べるのは最高です。大人は皆Glühwein (温かいワイン)を片手に持って楽しんでいます。アルコールなしの子供用のものもあり、甘くておいしいです。



## ◎クリスマス

クリスマスはホストファミリーの家族全員がチューリゲンに集まって祝いました。計5日間、アパートのようなところにホストファザー側のフランス人の家族と滞在しました。ホストファミリーは全員フランス語も話せるので、唯一私だけフランス語を話せませんでした。今まではドイツ語、伝わらなければ英語で伝わったのですが、ホストファザーの両親は英語を話せないで、ホストファミリーに翻訳してもらいながら会話しました。oui(はい)non(いいえ)merci(ありがとう)Bon appétit(いただきます)などフランス語超初心者程度の単語を覚えましたが、会話が「はい」か「いいえ」で終わってしまうので、フランス語の勉強も始めたいと思います。



←エアフルトの大聖堂



街並み→

Erfult (エアフルト) と Weimar (ヴァイマール) という都市の観光をしました。どちらも大きな都市ではないのですが、ゲーテやシラーなどの有名な人物が住んでいた伝統ある美しい街でした。

クリスマスイブには家族全員で集まり、プレゼントを開け、食事をしました。日本ではプレゼントはクリスマス当日に開けるのが普通だったので、今日開けるのかと驚きましたが、ヨーロッパはクリスマスイブに開けるのが主流のようです。

クリスマスプレゼントにはチョコレート、Tシャツとお金をもらいました。ホストブラザーとはプレゼントを交換する約束をしていて、磁石付きのスピーカーをプレゼントしてくれました。私は、フラフマンと文房具をプレゼントしたのですが、とても喜んでくれてうれしかったです。日本ではあまり家族全員が集まってクリスマスを祝うことはないですが、ドイツのように全員が集まり祝うのも素敵だなと思います。ですが、正月や元旦はドイツではあまり重要ではないそうです。うちのファミリーは正月をスイスで過ごす予定なのですが、友達はニューイヤーパーティーを開き花火を上げるそうです。正月とクリスマスの祝い方がドイツと日本では対照的なように感じます。



←クリスマスの料理



クッキー→

## ◎最後に

今回の留学だよりを完成させたときにはもう来年になっていると思うのですが、今年を振り返ると、今年は特にあっという間に時間が過ぎたなと感じます。最初は心配することもありましたが、家族や友達に恵まれ、ここまで楽しく、充実した留学生活を送れていることがうれしいです。来年は語学の勉強をさらに頑張り、実りある残り7か月を過ごしたいです。